|  |
| --- |
| こころころころ  202５，４,１４（月)  鳴門中学校　　　ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ通信　　　　竹口　佳昭 |
| 祝！入学・進級！  劇場版 それいけ！アンパンマン ミージャと魔法のランプ」公開 ...　　新年度が始まりました。　皆さんは，期待と不安で胸が張り裂けそうになりながら校門をくぐられたことと思います。　始業式・入学式を終え１週間が経ち，少し“こころ”が落ち着いてきたのではないでしょうか。　 “こころ”の振れ幅は人によって違います。　毎日，何事もなく過ごせるのはとても幸せですが，いつもとは違う出来事との出会いも，人生の１ページに彩りを添えることになるように思います。  さて，３月３１日から放送が始まったNHK連続テレビ小説『あんぱん』を観ている人もいるのではないでしょうか。　高知県出身の「やなせたかし」さんとその妻「小松暢」さんをモデルとしたドラマです。  「やなせたかし」さんは，５歳でお父さんを亡くし，７歳でお母さんと別れて暮らし，大学受験に失敗，戦争にもいくなど，幾多の困難を経験しました。　夢だった漫画家になったのは５０歳を過ぎてからという遅咲きでした。　今では大ヒットの『アンパンマン』も，発表当初の評判は芳しくなかったそうです。  アンパンマンのイラスト | フリーイラスト素材「いらすとや.JP」『アンパンマン』は，焼け焦げだらけのぼろぼろの焦げ茶色のマントを着て，ひっそりと恥ずかしそうに登場し，自分を食べさせることで飢えている人を救います。　正義の味方のウルトラマンやスーパーマンのように格好よく現れ，敵を徹底的にやっつけ，見ている私たちの”こころ”をすっきりさせてくれる清涼剤のようなヒーローとは少し違います。  『アンパンマン』に惹かれる子どもたちが多いのは，なぜでしょう。　『アンパンマン』の魅力は，幾多の困難を経験した「やなせたかし」さんの豊かな“こころ”にあるように思います。  アンパンマンが善（光）で，バイキンマンは悪（影）。　しかし，アンパンマンは決してバイキンマンを徹底的にやっつけません。  光だけでは，まぶしすぎて何も見えません。　影があるから光は輝くことができるように思います。　私たちの“こころ”の中は，善と悪がお互いしのぎを削り，善がへとへとになって悪をたしなめながら，悪と共存しているようにも考えられます。　その善の大きな優しさに『よう頑張ってる・・・・』　と言いたいです。  アンパンマンは，自分を犠牲にして困っている人たちを幸せにします。　「やなせたかし」さんは，人のために尽くすことが，自分を幸せにするのだといいたかったのかもしれません。　他人の笑顔を見ると，自分も笑顔になれて嬉しくなります。　子どもたちは，いつも笑顔のアンパンマンに出会うと，自分の“こころ”の奥に横たわっている温かさに触れるような感覚を覚えるので，またアンパンマンに会いたくなるのではないでしょうか。  今年度，スクールカウンセラーとして勤務させていただきます竹口です。  どうぞよろしくお願いします。    ４月来校予定  １８日（金）　・　２５日（金）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１０：０0～1６：００ |